

事務事業名	事務事業評価システム運用事業	整理番号	54202-000
所管	行政課 行政管理スタッフ		

●事務事業の位置付け

期間	平成12年度～平成年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策 5-4 行政改革の推進 政策 5-4-2 行政評価の推進	関連政策	5-1-2 開かれた行政の推進 5-4-1 市民サービスの向上

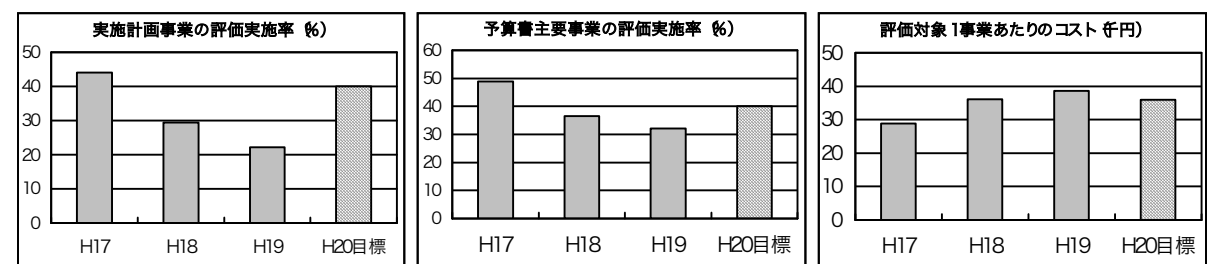
●事務事業の内容

目的 (何のために)	事務事業の効率性と成果の質を高めることにより、市民ニーズや社会環境の変化に対応した事務事業の展開を図る。
対象 (誰・何を)	全事務事業、全職員
手段 (どのようなやり方で)	事務事業の年度単位の実績又は実施状況について、定められた様式の評価シートを用い、事務事業の必要性、有効性及び効率性の観点で客観的に評価する。
成果 (どのような状態にしたいか)	事務事業の手段の見直しがなされ、成果を重視した行政運営による費用対効果の増進が図られる。行政の透明性が確保できるとともに、質の高い市民サービスが提供できる。
事務事業の背景・住民の意向	第三次御殿場市総合計画を実効性のあるものにするため、計画の進行管理手法として行政評価の考え方を取り入れた。
見直し改善の経過	評価の平準化を図るため、「必要性」「有効性」「効率性」の観点別評価に判断基準を導入した。

●事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(万円)
平成17年度	評価事務事業数164事務事業、研修会開催数3回参加者144人、評価委員会等開催回数9回	4,700
平成18年度	評価事務事業数126事務事業、評価委員会等開催回数6回	4,550
平成19年度	評価事務事業数123事務事業、評価委員会等開催回数5回	4,750

●評価指標



●事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	
観点別評価	必要性	★★★★	評価実施率は低下しているものの、観点別評価手法の導入により、一層の平準化が実現できるなど、庁内における認知度とともに、本事業(評価制度)の完成度は高まっている。一方で評価時期、結果の活用に残課題が残る。
	有効性	★★★★	
	効率性	★★★★	
一次評価	B	★★★★	今後の方向性 手段改善
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	
二次評価	C	☆☆	当該事業の評価結果は認めるが、事業の選択・見直しに活用されているか疑問がある。
			今後の方向性 手段改善

●改革プラン

平成20年度からの対応	・後期基本計画のスタートに合わせ、政策・施策との関連をもった事業評価制度を構築する。 ・評価結果について、さらに積極的に実施計画の策定及び予算編成等をはじめとした今後の行政運営に活用していくために、評価精度の向上を目指すとともに評価対象事業のうち法定受託や通常事務等の割合を減らし、施策の推進又は転換に直接繋がる事業の割合を増やす。
平成21年度以降の対応	・評価結果の有効活用
改革により予想される成果	・成果を重視した事務事業の展開がなされ、実施における手法等の見直しが常に行われることで、行政サービスにおける費用対効果の最大化が図られる。